

全国介護保険担当 課長会議



七月二〇日の第六〇回
介護保険部会では、
「軽度者への支援の在り
方」について検討されて
います。

『経済・財政再生アクション・プログラム
(平成二十七年十二月二四日経済紙諮問会議決定)
公的介護保険給付の範囲や内容について検
討した上で適正化し、保険料の上昇を抑制す
るため、時期介護保険制度改革に向け、軽度
者に対する生活支援サービス・福祉用具貸与
等やその他の給付について、給付の見直しや
地域支援事業への移行、負担のあり方を含め
関係審議会等において検討し、二〇一六年末
までに結論を得て、その結果に基づいて必要
な措置を講ずる(法改正を要するものに係る
二〇一七年通常国会への法案提出を含む)』
との政府の方針に基づき、訪問介護、福祉用
具貸与・特定福祉用具販売、住宅改修につい
て、制度の見直しが検討されました。ここで
いう軽度者とは、要支援、要介護1と要介護
2の方です。

訪問介護について

『介護サービスを提供する人材不足が喫緊の課
題である中で、人材の専門性等に応じた、担う
べき業務の類型化・機能分化が必要である。
そのような中、生活援助に求められる専門性
については、「介護に関する知識、技術をそれほ
ど有しないものでもできる」または「介護に関
する基本的な知識、技術を備えたものであれば
できる」との意見がある。(しかし、実際に
は)介護福祉士の約七割がこれらの業務をほぼ
毎回行っている。』

『生活支援の多様なニーズにこたえるために
は、介護サービス事業者以外にも、NPO、民
間企業、協同組合、ボランティア、社会福祉法
人等、多種多様な事業主体の参加による重層的
なサービスが地域で提供される体制の構築が重
要である。』↓地域支援事業(介護給付から市
町村の事業)への移行を検討。

福祉用具貸与について

『価格が比較的安価で、軽度者の利用が多く、
結果的に長期の利用となる福祉用具種目(歩行
補助つえ等)が存在することから、平成二三年
五月一九日の福祉用具における保険給付のあり
方に関する検討会において、こうした福祉用具
種目は「貸与から販売への移行」または「貸与
と購入の選択制」を導入してはどうかとの意見
があった。なお、その際には、「専門職の関与
と適切なアセスメント・マネジメントが担保と
される仕組みの確立と合わせて実施する必要が
あるとされている。」

『福祉用具の利用にあたっては、介護支援専門
員がケアプランに記載するだけでなく、福祉用
具専門相談員が専門知識に基づき、利用者また
はその家族に助言をしながら、利用開始時に適
切なアセスメントを行うとともに、利用者の状
態を考慮した定期的なマネジメントを適切に

行い、利用すべき福祉用具が仮定される必
要がある。』

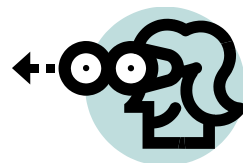
この点について、平成二四年度より、福祉
用具専門相談員に対し、指定福祉用具貸与
の目標、当該目標を達成するための具体的
なサービスの内容等を記載した福祉用具計
画の作成を義務化した。また、計画に基づ
き、目録等の文書を示し、副用具の機能、
使用方法、利用料等の情報を提供し、利用
者の同意を得ることとしている。

『』は資料の抜粋です。興味のある方は
原本をご覧ください。インターネットで閲
覧できます。なお、住宅改修については、
編集スペースの関係で割愛させていただきました。

最後に、給付の抑制が必要との考えが大
勢を占める中、「生活援助などは要支援
者・軽度の要介護者の生活に必要なもので
あり、加齢に伴う重度化を予防する観点か
ら、その給付を削減するのは反対であ
る」との意見もあることをご紹介します。
(井本)



トピックス 「介護ロボット」



巷で介護ロボットのニュースをよく見かけます。私達介護現場で介護ロボットがどのような場面で活躍できるのか、どのような効果があるのかを考えてみましょう。

経済産業省と厚生労働省は平成二四年に「ロボット技術の介護利用における重点分野」を公表しました。

高齢化に伴う要介護者の増加を見込み、介護ロボット産業の社会的必要性が高まったことを受け、介護ロボットの研究開発および実用化に向けて、国が本腰を入れて動きだしました。

経済産業省と厚生労働省はその中でも、先に挙げた「ロボット技術の介護利用における重点分野」を定め、移乗介助や排泄支援など、五つの分野を具体的に挙げています。

(一) 移乗介助

○ロボット技術を用いて介助者のパワーアシストを行う装着型の機器

○ロボット技術を用いて介助者による抱え上げ動作のパワーアシストを行う非装着型の機器

(二) 移動支援

○高齢者等の外出をサポートし、荷物等を安全に運搬できるロボット技術を用いた歩行支援機器

○高齢者等の屋内移動や立ち座りをサポートし、特にトイレへの往復やトイレ内での姿勢保持を支援するロボット技術を用いた歩行支援機器

(三) 排泄支援

○排泄物の処理にロボット技術を用いた設置位置の調整可能なトイレ

(四) 認知症の方の見守り

○介護施設において使用する、センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム

○在宅介護において使用する、転倒検知センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム

(五) 入浴支援

○ロボット技術を用いて浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器

(平成二六年 改訂)

厚生労働省 老健局 振興課
経済産業省 製造産業局 産業機械課 発表

この五つの分野で、皆さんが気になる分野は移乗介助ではないでしょうか。体重がある方や立つことが困難の方など、移乗介助は本当に大変ですよ。無理に介助をすると、腰痛の原因にもなります。それらを少しでも解消できるとしたら？

例えば、ロボット技術を用いて介助者のパワーアシストを行う、装着型の機器があります。「介助者が装着して用い、移乗介助の際の腰の負担を軽減する。介助者が一人で着脱可能であること。ベッド、車椅子、便器の間の移乗に用いることができる」という内容のロボットです。現在、身体を持ちあげるためのリフト、立位補助のためのリフトを活用している施設やご家庭があるかと思えます。有効活用しているところもあれば、使用したのは一、二回で、隅っこの方で埃をかぶっている、というところもあるのではないのでしょうか。

リフトは有効活用すれば、腰痛予防や要介護者・介助者双方の負担軽減に繋がります。

しかし、使用するまでの設定の手間（スリングリフトの設定やリフトの位置・操作など）や環境（リフトの足がベッドの下に入らない、リフトを入れるスペースがないなど）によって、有効的に使用できない・使用されない場合があります。これが装着型になって、手間や環境に左右されないのであれば、是非活用したいですね。

ただ、ロボットに依存しすぎること、介護職として考える力は失ってはいけません。移乗介助が大変だからと言っても、その方の能力を見極めることは大切です。その上でロボットを使用し、要介護者の持っている能力と生活範囲が向上・拡大することが望まれます。

私たちの観る力と考える力を維持しつつこれらロボットの活用が進むと、介護の世界はもっと魅力的になるのではないのでしょうか。

(島袋)



晴れときどき にじ 楽勝？ 認知症ケア



座談会・パート1

前号でご紹介した「認知症ケアの七大原則」に沿って、広報委員会で座談会を行いました。

メンバーは

- ① 東葛ブロック 島袋委員 (島)
- ② 千葉ブロック 井本委員 (井)
- ③ 北総ブロック 斉木委員 (斉)
- ④ 君津・安房ブロック 剣持委員 (剣)
- ⑤ 東部ブロック 寺本委員 (寺) です。

今回は、

- ① 環境を変えない
 - ② 生活習慣を変えない
 - ③ 人間関係を変えない
- の三つについて、思うことを素直に話してみました。

① 環境を変えない

寺 いつも座っているテーブルを一つずらすと、時計の位置がずれる、テレビが見づらい。職員が感じない誤差でも、影響があるよね。

島 入院や退所があつて人が減つても、ひとつテーブルに集まるのではなく、そこがいい。

斉木 席が変わると、問題行動に繋がることもあるよね。落ち着かなくなっちゃう。急に環境を変えると混乱してしまう。

島 うちの場合は、事前に説明をしてもダメだった。テレビを少し動かすだけでも影響がある。

井 在宅から来るか、施設から来るかによっても違いますよね。できるだけ環境を変えないように注意する必要があります。

剣 別の特別養護老人ホームの相談員から、入所の際には、居室を何となく自分の部屋の環境に似せると落ち着くと聞くけど、うちの施設はあまりそういうことはしない。来たばかりで、不穏になっちゃう人もいる。あとは、今まで、どうやっても自分の部屋がわからなかった人が、これまで家にあつたものをベッドに置くようにしたら、わかるようになったケースもあつた。私としては、本人がこだわる物、家にあつた物全部持つてきてもらつてもいいくらい。でも、施設では必要なものが全部揃つているよね。

斉 うちは介護老人保健施設なんだけど、家で住んでいたのと同じ環境で過ごしてもらおうとしている。安全ラインは確保しなければならぬから配置は同じにならないけど、なるべく多くの私物を置くようにしている。雑多な環境になるから看護師の長は安全面から否定的だけどね。

でも、認知症の対応として取り組むことが大事だと思う。

剣 そこで安心して生活してくれればいいよね。

② 生活習慣を変えない

斉 風呂の時間とか、施設だと日中、しかも午前中が多いじゃないですか。「家では夜に入っていたのに、何でだ」という人もいる。

寺 やむを得ないとも思うけど、その辺の説明をきちんとした上で、その日に本人がやらなければならぬスケジュールを一人ずつ作って掲示している。



斉 うちは、ステーション前に大きなものを作つてみんなが見に来ている。これも施設生活の習慣みたいなものだけ。

斉 あと、口腔ケアつてどうしてます？ 歯科往診を受けて介入が必要になれば、介助に入りますよね。はじめから介助が必要な人であれば、すぐに介入できるけど、自立の人とかだと、なかなか自室に出向けない状況で、生活習慣を変えないようにするとなると難しい。

島 歯磨きの習慣がない人もいますよね。

寺 入れ歯は夕食後に外してもらつて、洗浄剤につけるために朝まで預かっていることもあるけど、入れっぱなしの習慣の人もいるよね。下手したら家では洗っていない場合もあるかな、とも思う。

斉 以前口腔ケアの研修を受けた時、歯科衛生士が「せめて、二、三〇分くらいは預かれれば」と言っていた。

寺 「三〇分待つていて」というと、本当に返してくれるまでじつと待つてる。

島 入れ歯が気になつて、ナースコールが鳴りっぱなしの人もいる。

寺 衛生管理としては「こっち(職員)が大事」という狭間。

斉 生活習慣を変えないのも大事だけど、新たな生活習慣にも慣れてもらうことだね。ちよつとずつ慣れてもらうためには、無理しちゃダメ。

行ったり戻ったりして慣れていってもらう。
 島 見たいテレビ（笑点とか）があったら、施設のスケジュールに合ってなくても仕方がないよね。

寺 あと、食堂のテレビで、笑点と相撲のどちらを流すか（笑）とか。集団の中では難しいけど、一人ひとりの小さいところは、可能な限り調整してあげたいよね。

齊 デイサービスの方はどうなのかな。
 剣 デイでは座る場所とかはあまり決まってい

ないけれども、習慣でみんな同じ場所に座る。ベッドも同じ所に行く。畳が良いって人がいたから、一部畳にしたら、結構人気のスペースになった。認知症があってもなくても「ここが私のスペース」的なよね。
 寺 それを大事にしてあげなくちゃいけないよね。

寺 床頭台の時計の位置が少し違うだけでコールがある。ベッドに横になった時、何となく違うんでしょね。

島 テイツシュの材質が変わっただけで気になる人もいる。肌触りとか。

齊 その人にとっては、肌荒れちゃうとかストレスになるんだね。

寺 些細なことがストレスになるんだ。
 剣 ベッド派・布団派とかないですか。

島 危険性とかもあるけど。
 齊 自宅での状況が予めわかれば、ベッドをとっちゃう。同じ空間にする。

寺 なかなかそこまですけないなあ。
 齊 大部屋だと難しいけど。一度、部屋を調整して大部屋でもそのまま環境を設定できるようにしたことがある。でもそのためには、ケアマネを説得するために会議を開いたり、その人の環境を守るために行動した。衛生面に対することとか。

寺 ショートステイに行った後、少しおかし

くなっちゃうってことはある？

剣 まず歩けなくなっちゃう。デイなら職員がついて歩いたりするけど、施設だと歩ける人も車椅子に乗ってる。泊まりが長ければ長いほど落ちる。そのあと、元に戻るのが大変で、結局生活習慣が変わっちゃう。

井 施設だと安全第一ですよ。
 島 現状維持で家に帰れるようにしろとも言われる。

井 職員も「転んだらどうしよう」という不安がありますよね。自由にしてほしいけど。

寺 転倒って一週間のうちが多い。ヒヤリハットの統計では、一週間のうちの夜間が多い。だからどうしても介護側が気を使うのはわかる気がする。

井 基本的な介護をきちんとしていないと、せん妄を起すほうにつながる。理解力が急に乏しくなったり、感情的になったり。認知症のケアについてい

うけど、いつもと違う状態になって認知症と思っちゃうこともある。食事を食べなくなると、便だらけになって、職員が介入しようとする、手を払って抵抗する。本人も「私おかしくなっちゃった」と言う。基本的な介護でどっかが足りない

と、おかしくなっちゃうんです。
 寺 水分や食事、便秘とかですぐせん妄になっちゃう。

齊 環境や介護の関わり方で、なにか適切ではないってことだよ。

井 認知症とせん妄を一緒にしない。基本的な介護を雑にしない。

利用者とけんかをしちゃう職員がいます。自分の考えを押し付ける・説教しちゃう。

剣 よくあるよね。対応する人によって、利用者の行動が違う。

寺 相性？違う。対応。
 井 その職員なりに別の面がいいところがあるから教えて対応を変えるのは難しいですよ。

寺 スタッフでもそうなんだから、認知症の人に教

えるとかっていうのは無理だよ。夜になると精神的に苦しくなっちゃう人がいて、おまじないをかけると大丈夫なことがある。

齊 その気にさせるってこと？

寺 気持ちの問題だから、軟膏とかも「いつもより多めに」「特別」「内緒で」とかを使ったり、「大丈夫だよ」と言う。ごまかしてるとい

うのとは違う。
 島 安心してもらえようってことですよ。

③人間関係を変えない

入所や入院してすぐの面会ってどう？一瞬、家族との絆が途絶える。

齊 認知症の人の家族が来て、本人だけじゃなく家族も混乱する。「来ない方がいいですか？」

と言われることがある。私は、「心の奥では、本人は家族を待ってるから、できるだけ面会に来てもらいたい」と説明してる。家族は、自分達

達が帰った後のスタッフの大変さについてかなり気にしている。家族への配慮も大切だよ。家に帰って、親を預けて忍びない思いがある。何回も話を

して、認知症の関わりや感情について理解してもらった。双方が落ち着いて生活できるような心がけをした。責任もって預かる以上は、

家族へのフォローも大事だと思った。
 井 自分のいる場所を作ることで（環境を作る）

家族もいやすくなるのでは？孫とかがおじいちゃんやおばあちゃん

の部屋に来る感じ。
 齊 相乗効果で周りの人が「ああ可愛い。」「あ」と、携帯電話を持って

いたい（家族との絆）。これだけのことで、すごく落ち着いた生活ができるようになった。

家族が負担を感じず、絆を切らさないように工夫する必要があります。

新しい試みって、すごくパワーを要するよね。他部署との理解を深めることは、かなり負担。でも、利用者のため

に思ってるでしょ。結果は出てるでしょ。

研修報告

◎平成二八年度サービス提供責任者研修

サービス提供責任者の研修を受け、法改正が繰り返される昨今、改めてサービス提供責任者の大変さと必要性を知ることができました。計画書、手順書の作成の仕方のほか、連携を取る上で他職種との関わり方、ヘルパーへの配慮の仕方、家族とその利用者の思いをくみ取り寄り添うこと。このサ責という役割の重大さを知りました。また、参加者の皆さんの中には長い方、これからの方といて、現場でのあるある体験や貴重な体験談が飛び交い、たくさんのお話を聞くことができました。この六日間の大きな学びを、明日へと繋げていこうと思います。

(松川典代)



◎北総ブロック研修会

「高齢者の心身活用知識と運動機能向上の実践研修」

今回は、当会の会員でもあり、船橋にここに元気塾で介護予防体操などを指導されている、安達マツ子先生をお招きして研修会を行いました。研修では、身体の筋肉や構造、転倒しない体作りを、身体構造などを踏まえてわかりやすくご説明いただきました。

前半の講義の際に、肩こりに悩んでいる会員に対してストレッチの方法を指導していただいたところ、肩こりがみるみる解消していき、参加者はその効果を肌で実感することができたようです。ご利用者へのものだけでなく、介護職員の腰痛予防の観点から、腰痛になりにくい体作りなどについても体操を交えてお話しをいただき、最後は歌に合わせた体操をするなど、とても爽り多く笑顔の絶えない研修会となりました。実際に介護予防体操として行っているプログラムのごく一部を体験いただけですが、なかなかハードな運動で、研修会としては珍しい、息の上がる、汗がじわっとにじみ出る場面もありました。

普段行う体操なども、しっかりと効果を説明し理解を得ながら実践していくことで、介護福祉士としての専門性を発揮していくことにつながると感じました。

講師の先生をはじめ、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

(加藤幸夫)



◎東葛ブロック研修会

「地域での介護福祉士の果たす役割とは」

地域包括支援センターに勤務しておられる堀越悦雄氏による講義では、地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護予防・生活支援の充実を図る中で、介護福祉士としての専門性を活かして活動をすることや、新たな総合事業（介護予防・生活支援サービス事業）等について学ぶことができました。参加者からは、「施設に勤務しているため、視野を広げることができました」等の感想がありました。

ランチを食べながらの親睦会では、和やかな雰囲気の中で情報交換を行うことができ、とても有意義な時間となりました。今後の東葛ブロック研修会にも要注目です！

(村田由紀子)

◎千葉ブロック研修会

「施設見学」

千葉市桜木にある、サービス付高齢者向け住宅『あけぼのシニアホーム桜木』に行ってきました。

蒸し暑い中、時間厳守で集まり、汗をふきふき研修先に向かいました。

施設長さんの話は、施設の表面上のことだけではなく、経営・立地条件・利用者に対する熱い思いを伺うことができました。

(アンケート内容)

・施設長の、利用者をよく見て情報を得るといったお話しや、利用者との良い関係を作る。介護の理念など大変参考になりました。

・今増えている高齢者施設に興味があったので、参加できて満足しています。施設長さんの説明もわかりやすく、とても有意義な時でした。

・サービス付高齢者住宅の内容がどうなっているのか知りたかった。運営方針の確認ができました。

・サービス付き高齢者住宅の内容が分かった。

・職員さんとも話がしたかった。

・日常、コスト、セキュリティなど参考になった。

- ・目で見て特徴も聞き、参考になった。
- ・建築構造、事業内容について理解できた。

（今後の研修について）

- ・ケアプラン作成
- ・施設見学

等の意見がありました。（横山美智子）



◎東葛ブロック研修会ロ

「作業療法士から学びましょう」

今回は、「作業療法士から学びましょう」というテーマで、講師には、作業療法士の野口晴康氏をお招きし、「介護現場における日常生活動作の援助・工夫」についてご講演いただきました。

重心移動についての講演では、まず「重心とは」に始まり、人間の動きに重心がどう関わるか、動きに入る時のスイッチの入り方など、理論的な面と実践への応用面などをわかりやすくご説明いただきました。

参加者からは、「リハビリ視点の介護の考え方、理論、技術が学べた」や「支持基底面をベースに、重心移動の考え方を学べた」等、非常に勉強になったとの感謝の言葉がありました。（南静代）

研修案内

◎平成二八年度 認知症研修会（研修委員会）

日時…九月二五日（日） 一〇時から一五時
 テーマ…「認知症の基本的理解と対応について」
 会場…千葉県社会福祉センター 三階
 講師・内 容…

医療法人弘仁会 板倉病院
 老人性痴呆疾患保健医療指導者
 精神保健指定医
 日本医師会認定産業医 赤川 和弘 氏
 「基本的な精神疾患の理解について」
 「薬について知識を持つ」

千葉県認知症介護指導者
 社会福祉士・精神保健福祉士
 介護福祉士 津雪 聡子 氏

「事例検討1」
 「事例検討2」

参加費…会員・準会員 一〇〇〇円
 一般 三〇〇〇円

◎講師養成研修（実践編）

日時…十一月二六日（土） 九時三〇分から一五時
 会場…千葉県社会福祉センター 四階
 内容…①発達と老化の理解
 ②介護過程
 ③社会の理解

持ち物…受講証（お持ちの方） 入門編資料
 生涯研修手帳

参加費…一科目 二〇〇〇円 三科目 五〇〇〇円
 参加要件…①当該年度の会費を納入していること
 ②講師養成研修入門編修了者
 締め切り…一〇月三〇日（金）

◎第三回「チャレンジ！力試し試験」

日時…十一月二六日（土）
 一五時一五分から一六時
 会場…千葉県社会福祉センター 四階
 受験資格…

本研修において入門編及び実践編（三科目以上）を修了した者

受験料…無料
 試験問題…第二八回介護福祉士国家試験問題のうち、四〇問を選定
 降格基準…六〇%（二四問）以上の正答をした者
 合格後の活動…千葉県介護福祉士会における講師活動

◎平成二八年度介護福祉士受験対策・模擬試験

○模擬試験

①中央法規
 ・第一回 一〇月二二日（土） 九時五〇分
 会場…千葉県社会福祉センター 四階
 受験料…四八六〇円
 締め切り…一〇月六日（木）

・第二回 十一月九日（土） 九時五〇分
 会場…千葉県社会福祉センター 四階
 受験料…四八六〇円
 締め切り…十一月三日（木）

・セット（第一回・第二回）
 受験料…八六四〇円
 締め切り…一〇月六日（木）

②日本介護福祉士会 全国一斉模擬試験
 日時…十二月一〇日（土） 九時五〇分
 会場…千葉県社会福祉センター 五階
 受験料…四三〇〇円
 締め切り…一〇月二七日（木）

ちよつとだけ千葉、知っ得？ 「歴史と日本の空の玄関口 成田市」

成田市は、成田山新勝寺と成田国際空港を有する千葉県北部中央に位置する都市です。成田山新勝寺は、天慶三年（九四〇年）に創建された関東を代表する古刹（こさつ）であり、二〇一六年度初詣参拝者数第二位、祇園祭でも有名です。また、成田新勝寺境内にある成田山公園では、梅、桜、紅葉など四季折々の自然を楽しめます。



成田国際空港は日本の空の玄関口であり、乗り入れ航空会社八社、海外一〇七都市、国内一七都市（二〇一六年度）を結ぶ国際空港であり、昨年度は、第三ターミナルのオープン、入場ゲートのノンストップ化、またインフラ整備では、神崎IC・大栄JCTの開通などの整備が進んでおり、空港隣接の「さくらの山公園」「さくらの丘公園」では航空機の離発着や桜などが楽しめます。特に「さくらの山公園」には、空の駅さくら館が併設され、物販コーナーやパン屋さんなどもあります。

ここまでは皆さんご存じの情報でしょう。ここからが「千葉知っ得」としてのご紹介です。

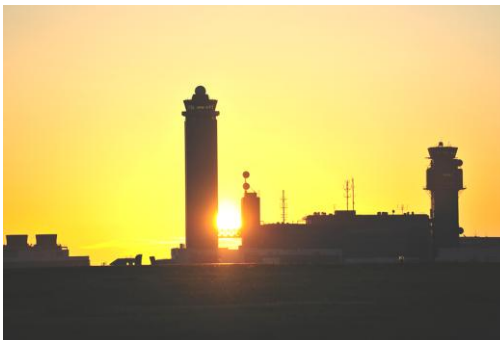
最近、成田市公津の杜に「国際医療福祉大学」が開講されたのはご存知の方も多いと思います。ですが、第二次阿部内閣の成長戦略の一環として二〇一四年に国家戦略特別区域として成田市が選ばれ、その中で成田市が提案する「国際医療都市学園構想」の一環として、上記大学が設立されたのは、あまり知られていないかもしれません。



予定では、来年四月には医学部が設置、更にオリンピックキヤーである二〇二〇年には、具属病院となる「国際医療福祉大学成田病院（仮称）」が開院し、ここでは最先端医療の提供、海外からの著名医師の招へい、外国人向け医療の提供、高付加価値、高アメニティ（レストラン、プール、ジムなど）などが提供されるということですが。

この「国際医療都市学園構想」では、大学、病院だけでなく、医療機器メーカー、製薬会社と連携を取り、医療機器等の研究開発なども行われます。更に、この病院には介護施設も設置される予定で、外国人スタッフの配置・育成、病院・大学との共同研究や開発（介護ロボット等）などが計画されています。

これらはいくまで計画ですが、イメージとしては、筑波学園都市の医療版といったところでしょうか。興味のある方は、成田市HP（国家戦略特区推進課）を覗いてみてください。（斉木）



一般社団法人
千葉県介護福祉士会

〒260-0026
千葉市中央区千葉港 4-3
千葉県社会福祉センター
3階

TEL:
043-248-1451

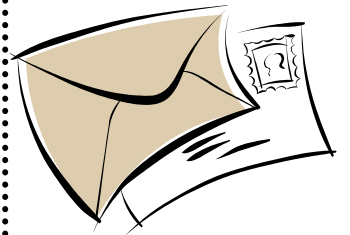
FAX:
043-248-1515

E-MAIL:
Kai5niji@poem.ocn.ne.jp

編集：広報委員会・広報委員長

知りたい情報等がありましたら、上記メールアドレスにお知らせください！

会員数（七二八名）



事務局だより

九月一日 現在

東葛ブロック 一六一名

千葉ブロック 一六一名

君津・安房ブロック 七五名

東部ブロック 八一名

南部ブロック 五八名

北総ブロック 一九二名

全国大会等

第二三回 公益社団法人 日本介護福祉士会
関東・甲信越ブロック研修会（十一月二日）

全国大会で初めての試み「グループディスプレイスカッション」。
千葉県は「介護福祉士のマネジメント力」の『組織運営』
を担当します。目下、準備中！

○住所の変更がありましたら、
変更届（会員の葉に添付されています）に記入を
して、事務局へ送って下さい。
※クロネコメール便を利用しています。
郵便局への住所変更では届きません
○事務所の電話受付は月々金（九時～一六時）と
なっておりますので、受付時間外及び土・日・祝
日に開催される研修会等のお問い合わせについて
は、留守電にて対応しております。
どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記？

鈴（りん）
の
つぶやき



「癒されて～ん♡」

最近20歳になった私（人間なら90歳超え）。目が見えづらくなり、動きも緩慢になってきた。寝ている事が多いけど、皆のご飯の時には言わせてもらうわ。「ちくにゃ～！（竹輪）」。この味、舌ざわり。置いてあるだけじゃ食べないの。お母ちゃんにちぎってもらって、手で食べさせてもらうの。

「うにゃ（ま）～い♡」

（岩）